

No.	種 別	内 容
5	基準項目	教員組織
	指摘事項	1) 工学部、情報工学部では、51～60 歳の専任教員が 40%を超えており、年齢構成のバランスを欠いている。若手教員が少ないので、教員補充の際には計画的な採用が望まれる。
	評価当時の状況	学部別に評価すると、工学部と情報工学部の 50 歳代が多いようであるが、私学においては半数以上の教授が望ましいことから、この年代が多いことは特に問題点ではないと思われる。工学部の 60 歳代が若干多いようで、今後の採用については 40 歳以下に配慮する必要がある。また、社会環境学部はバランスよく配置されており、おおむね適切と判断される。 学科別に分析したところ、工学部電子情報工学科と情報工学部情報工学科において 60 歳前後の割合が高いという問題点があった。これらの 2 学科においては、今後は、将来に向けた新規採用において、若手教員の増強に配慮する必要があると考える。
	評価後の改善状況	専任教員の年齢構成は、現在では他大学に比して高年齢側に位置している。この点については、前々回（2004 年）、前回（2007 年）とも、大学基準協会の審査で指摘を受けた。この点の是正に向けて、定年に伴う新規教員は電子情報工学科の 30 歳代の 2 名（2009 年度）を先頭に若手中心に採用されはじめている。また、平成 20 年度（2008 年度）以降の採用教員の年齢を 65 歳以下とするように規定を改めたので、10 年後には他大学並みに低下することが予測される。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	別添 資料 11「学校法人福岡工業大学定年規程」参照	
	<大学基準協会使用欄>	
検討所見		
改善状況に対する評定	1      2      3      4      5	